

昨日はお祭りがありました。たくさんの人たちが楽しそうに過ごしていて良かったです。朝早くから、運動場に今日以上にあった水たまりの整備をし、準備をしてくれた PTA や地域の人たちに感謝ですね。地域の人たちは、みなさんを何か楽しませてあげたいといつも見守ってくれています。

サッカーの世界カップの開会式がカタールという国で今日の朝早くにありました。日本は7大会連続の出場で、今回も予選を突破し、決勝トーナメントで勝つことを目標にしています。先生も日本はもちろん応援しますが、純粹にいろいろな国がサッカーの試合をすることを、とても楽しみにしています。

ところで、今回のワールドカップではサッカーの選手はみんな男の人ばかりです。ところが、審判では今回の大会で初めて、6人の女性が選ばれ、日本の山下良美さんはそのうちの一人となっています。山下さんは小中学校とサッカーを続け、高校ではバスケットボール部に入りました。そして大学でもう一度、サッカー部に入り、大学を卒業する時に審判の資格をとったそうです。10年以上かけて4級から始まる審判資格をとって、2012年に1級を取得し、2015年に国際審判になって、男子の試合の審判もできるようになりました。現在、

サッカーの J リーグでプロの審判は 18 人ですが、山下さんは唯一の女性審判員です。

山下さんは「女性初というプレッシャーをモチベーションに変えたいと思っている。びびったり、ひるんだりもしているけど、それはあまり言いたくない。」「男子の試合を担当する難しさは特にない。審判としてやるべきことは同じ。女性審判が男子の試合で当たり前で笛を吹くことの第一歩になれたらうれしい」ということを言っています。

ここからの道も険しいようです。審判は大会の前に行われる練習の試合で、笛をふきます。その試合で判断ミスをしたら、ワールドカップの本番での担当がなくなることもあり、1 試合もできないこともあるようです。ぜひ、山下さんが審判をしている姿を見たいものですね。何事も、初めてということは誰にでもあり、ものすごく緊張することだと思いますが、それを力に変えていく山下さんの姿勢は素晴らしいですね。